

(農)世羅大豊農園 日本なしの改植進む

【平成 29 年 6 月 15 日 掲載】

世羅町の農事組合法人・世羅大豊農園(組合長理事 柘宜谷 全(ねぎや たもつ):組合員9戸, 経営面積 41.3ha)では, 樹齡が 40 年を越え, 生産性が低下しつつある日本なし「幸水(こうすい)」「豊水(ほうすい)」の改植を進めています。これまでは, 枯れた樹の後に, 苗の補植を行い, 生産性の回復に努めてきましたが, いや地現象によって, 結実期を迎える頃になると急激に樹勢低下が起こることが問題になっていました。

平成28年度に, 県の園芸作物条件整備事業を活用し, 1.3haの改植を実施しました。いや地の原因物質が蓄積している土壌を取り除き, 真砂土, 黒ボク土, 堆肥を混和した土を, 樹を改植する場所へ列状に客土しました。

改植した園地には, 「幸水」のほか高糖度で食味が良く, かつ栽培が容易で豊産性の晩生品種である「甘太(かんた)」などの優良品種を導入しています。栽植密度を高め, 二本主枝の単純な樹形にすることにより, 早期に収量を確保し, 栽培管理作業の省力化を図っています。



情報提供元

東部農業技術指導所